

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586013702	科目番号 / Course code	05860137
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12111_005		
授業科目名 / Course title	リスク社会を理解する：健康と医療・経済と生活・科学と技術 (健康と医療の安全・安心) / Safety and Security in Medicine and Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松田 尚樹 / Matuda Naoki, 淵上 剛志 / Fuchigami Takeshi, 大沢 一貴 / Ohsawa Kazutaka, 森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松田 尚樹 / Matuda Naoki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松田 尚樹 / Matuda Naoki, 淵上 剛志 / Fuchigami Takeshi, 大沢 一貴 / Ohsawa Kazutaka		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nuric nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	原爆後障害医療研究所 放射線生物・防護学分野		
担当教員TEL / Tel	819-7163		
担当教員オフィスアワー / Office hours	上記EメールアドレスまたはTELへの事前連絡により随時対応		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	五感で感じないうちに我々に忍び寄り、健康に重篤な影響を及ぼすこともある原発事故による放射性物質の拡散や鳥インフルエンザ感染の拡大は、人々の安全と安心を大きく揺るがしてきた。本授業では、放射線と人獣共通の感染症を基礎医学生物学及び薬学の観点から正しく理解することを狙いとして、その本体、健康リスク、予防、診断及び治療などに関わる基礎知識を習得する。また、グループディスカッションにより、健康における安全と安心についての自らの考えを深める。		
授業到達目標 / Course goals	放射線と放射性物質の基礎、健康影響、利用、測定、防護について正しい知識に基づき自分の考えを導くことができるようにする (?@?C?D?F?H?I)。また、実験動物および動物実験を取りまく法令体系を理解し、法律を知らないリスク、人獣共通感染症を知らないリスクについて学ぶ (?@?B?C?D?E?H)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	1回から10回：定期試験50%、授業中の課題に対する積極的な取組状況50% 11回から15回：定期試験20%、授業中の課題に対する積極的な取組状況80% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	講義資料を事前にLACSで公開する。質問への回答は全てLACSで公開する。		
キーワード / Keywords	放射線、放射能、原子力、感染症、動物実験		
教科書・教材・参考書 / Materials	テキストは用いず、授業計画に沿った資料を配布する。資料はLACSでも閲覧可能。 参考図書： やさしい放射線とアイソトープ (社) 日本アイソトープ協会 丸善 (1,000円) 原子力災害に学ぶ放射線の健康影響とその対策 長瀧重信著 丸善出版 (2,500円) リスクのモノサシ -安全・安心生活はありうるか- 中谷内一也著 NHKブックス (970円) 実験動物としてのマウス・ラットの感染症予防対策 (社) 日本実験動物学会監修 アドスリー (2,650円)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	授業外学習に週平均2時間以上を充てること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	放射線、感染症に関する情報（新聞、テレビ、ネット、種類は問わない）にアンテナを立てておくこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	松田 尚樹/ @放射線施設の施設長（13年）および選任放射線取扱主任者（23年）として放射線安全管理実務、AJCO事故、刑事事件、福島原発事故被災者・初期対応者等の被ばく線量評価、B放射線審議会委員、日本放射線安全管理学会会長として放射線防護（学）を推進/線量測定、線量評価、健康リスクアセスメントの流れと被ばく線量線量解釈の相場観を語る/ 大沢 一貴/先導生命科学研究所において医師としての医動物学分野の実務経験を有する。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	実験動物：経済動物と愛玩動物の間（11/28 大沢）
第2回	実験動物と動物実験（11/28 大沢）
第3回	動物実験と社会（12/5 大沢）
第4回	人獣共通のウイルス感染症（12/5 大沢）
第5回	人獣共通の細菌感染症（12/12 大沢）
第6回	放射線の基礎（12/12 松田）
第7回	放射線の影響（12/19 松田）
第8回	原子力発電と福島事故（12/19 松田）
第9回	放射線リスクの考え方（1/9 松田）
第10回	課題学習（1/9 松田）
第11回	放射性同位元素（RI）とは何か -放射性物質の基礎知識-（1/16 淵上）
第12回	提示される課題に対して、グループディスカッション（1/16 淵上）
第13回	提示される課題に対して、グループディスカッション（1/23 淵上）
第14回	提示される課題に対して、グループディスカッション（1/23 淵上）
第15回	グループ・プレゼンテーション、全体討論（1/30 淵上）
第16回	定期試験（1/30）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/21		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586014502	科目番号 / Course code	05860145
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12131_005		
授業科目名 / Course title	リスク社会を理解する：健康と医療・経済と生活・科学と技術 (科学と技術の安全・安心) )/ Risk and Safety in Science and Technology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 森保 洋 / Moriyasu Hiroshi, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学・歯学・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hidechto nagasaki-u.ac.jp ? (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部流体エネルギー工学研究室 ?		
担当教員TEL/Tel	095-819-2516 ?		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月から金8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。 ?		
授業到達目標/Course goals	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心(科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。 ?		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する ?		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心 ?		
教科書・教材・参考書/Materials	安全・安心工学入門 (古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。 ?		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 安全と安心の基本的な考え方について(林)
第2回	第2回 災害とリスクマネジメントについて(林)
第3回	第3回 安全文化について(林)
第4回	第4回 事故の事例と原因紹介(林)
第5回	第5回 安全安心の意識調査(田中) 安全安心に関する提案のグループ分け
第6回	第6回 安全・安心に関する法律(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ1
第7回	第7回 電気に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ2
第8回	第8回 安全安心に関する提案の発表会(田中)
第9回	第9回 電磁波に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の総評
第10回	第10回 自然災害と安全・安心 その1(高橋)
第11回	第11回 自然災害と安全・安心 その2(高橋)
第12回	第12回 自然災害と安全・安心 その3(高橋)
第13回	第13回 化学物質の安全・安心 その1(久保)
第14回	第14回 化学物質の安全・安心 その2(久保)
第15回	第15回 化学物質の安全・安心 その3(久保)
第16回	予備日

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586028101	科目番号 / Course code	05860281
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15131_005		
授業科目名 / Course title	リスク社会を理解する：健康と医療・経済と生活・科学と技術 (経済と生活の安全・安心) )/ Safety and Security in the Economy and Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	moriyasu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所3階313番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日正午から12時50分まで。この時間帯以外を希望する場合はメールでアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、様々な金融資産の特徴を理解したうえで、金融リスクをコントロールすることの重要性とその手法について学習する。		
授業到達目標/Course goals	・証券市場の構造について説明できるようになる (?D)。 ・証券投資の基礎理論を理解し、実際に証券投資を行うための基礎知識を習得する (?@)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加・貢献度(30%)、期末試験(70%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 )/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	金融システム、金融リスク、金融市場、金融リテラシー		
教科書・教材・参考書/Materials	榊原茂樹ほか(2013)『入門証券論』第3版、有斐閣 東京証券取引所・日本証券業協会『大学生のための証券市場と株式会社の基礎知識』		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	「大学生のための株式学習ゲーム」に参加するため、講義にはインターネットにアクセスできるパソコンあるいはスマートフォンを持参下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	評価の基本原則
第3回	企業分析
第4回	株式市場
第5回	株式分析
第6回	債券市場
第7回	債券分析
第8回	ポートフォリオ理論と資本市場理論(1)
第9回	ポートフォリオ理論と資本市場理論(2)
第10回	デリバティブ市場
第11回	デリバティブ価格と投資戦略
第12回	グローバル投資と各国の証券市場
第13回	行動ファイナンス
第14回	オルタナティブ投資
第15回	授業の総括
第16回	期末試験